



誰もが住みよい地域をめざして！

中央小学校の4年生は、地域のボランティアほのぼのカーボさんを講師に迎え、エルダートライ（高齢者疑似体験）と車いす体験を通してみんなが住みよい地域について学習されました。

南小学校のみなさんは手話で『世界に一つだけの花』を練習し、地域の方々と一緒に音楽会で発表されました。また、5年生は授業が終わったあと、兵庫県聴覚障害者協会から講師を迎え手話での日常会話を地域の方々と一緒に学ばれました。

どの学習でも、誰かが特別ということはなく困っている人がいれば「こんにちは！何かお困りですか？」と声を掛ける、1人で助けるのは難しいと思ったら周りの人にも協力してもらう。こうしてみんなで助け合うことが『誰もが住みよい地域』の第一歩になることを学ばれました。



中央小学校 車いす体験



南小学校 手話教室



冬でも温かい！？こころ温まる集いの場

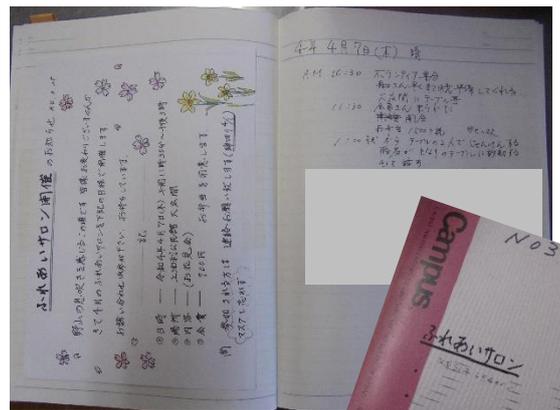


12月クリスマス会を実施されているふれあいきいきサロンをいくつか訪問しました。

気温は、とても寒くなってきましたが、参加者の方の笑顔や、ボランティアさんの活動に対する想いととてもこころが温くなりました。改めて、その場に参加させていただきただけで笑顔になる本当に素敵な大切な場所だと感じます。

上油利のサロンを訪問した際に手書きで作成されたこれまでのサロンの開催案内のチラシやサロンの内容、参加者の名前を記録したノートを見せていただきました。ボランティアのみなさんの愛情が詰まったノートに更にこころが温まりました。

みなさんの自治会でサロンを始めたい、体験してみたいというところがありましたら丹波市社協氷上支所へご相談下さい。



これからますます大切に！地域での支えあい



12月も各地区で、高齢者などが安心して暮らせる地域を目指し、住民主体の話しあいや講演会が開催されました。

12月4日生郷地区では、災害時の地域での支えあう役割について motto ひょうご栗木剛氏を講師に迎え講演会を開催されました。

災害に備え、近所の方に助けをお願いできるよう日頃から声掛けをしておく、要援護者のリストをどのように進めていくかなど全国の他地区の事例なども交えお話しされ、みなさん熱心に聞かれています。講演を聞くだけでなく、今後各自治会や各家庭での話しあいにつながり、安心して生活できる地区になると良いですね。

12月9日中央地区では、中央地区での支えあいについて住民が話しあう中央地区「和」サポート会議が開催されました。中央地区では、子ども、障がい者など様々な目線で実際に地域を歩き危険と感ずる場所を記録しマップを作成して地域のみなさんに伝える取り組みを実施しようと話しあわれています。

丹波市社協は、各地区の支えあいの取り組みを支援しています。みなさんが地域で感じることなどを是非聞かせてください！



生郷地区講演会



中央地区「和」サポート会議

善意の寄付をお届けします♡

丹波市商工会青年部氷上支部様から丹波市善意銀行に預託いただいた寄付金を、生活にお困りの方へのフードドライブの食料品と、子ども食堂でのクリスマス会プレゼントに活用させていただきました。

食料品は氷上地域の生活にお困りの方に順次お渡しし、クリスマスプレゼントは氷上地域で開催される12月の子ども食堂（対象者120名）でお渡します。

お寄せいただいた温かい善意のお気持ちが、多くの方に届けられ、みなさんの心も温かくなると良いですね。

丹波市商工会青年部氷上支部の皆様、ありがとうございました。

☆過日募集しました「しゃきょうたすけあいフードドライブ」にも多くのご協力をいただきありがとうございました。

12月15日、16日に希望者へ配付させていただきました。

